

## 塔ノ岳遭難(2022年8月)

大倉尾根を往復する予定が表尾根に道間違い。登山道はしっかりしているので、どこかに下山できると判断しそのまま進む。途中で暗くなり動けないため救助要請。行者ヶ岳付近で救助された。



## 解説

①午前11時10分に大倉尾根登山口を登り始め。②地図なし。③服装は短パンにTシャツ。④水は約く500ml持参。⑤塔ノ岳下山開始は15:15。⑥塔ノ岳頂上からは来た道の大倉尾根を下山予定だったが表尾根に下ってしまう。30分ぐらい下ったところで気づいたが、だいぶ下ってしまったので、ここから登り返すのも厳しいので、どこかに下りればいよいよという軽い気持ちで、そのまま下る。

救助隊と合流は午後9時9分。遭難者は行者ヶ岳の岩場で傘をさして震えながらうずくまり、カッパなし、ヘッドランプなし、着替えなし。とりあえず体を温め、白湯を飲ませて回復させ下山を再開。登山口に下山したのは、午前0時36分だった。

頂上からの下山は、同ルート下降にも関わらず道に迷って(間違えて)しまった事例。頂上からの下山時間が遅いため30分後に気づいても後戻りをしようとはしない。どこに行くのかも分からず、多分下山できるだろうと安易な判断が救助を求める結果となってしまった。装備不足も冷静さを失う一つの要因である。頂上からの最初の一步は特に先読みをする癖をつけてほしい。